

全国学力・学習状況調査の今後の実施について

全国学力・学習状況調査については、平成23年3月の専門家会議の「検討のまとめ」等を踏まえ、以下の方針を進めることとなる。

調査方式

○当面、抽出調査＋希望利用方式で実施。

(※公立の都道府県別の結果までを統計上有意なレベルで把握できる約30%の抽出率で実施)

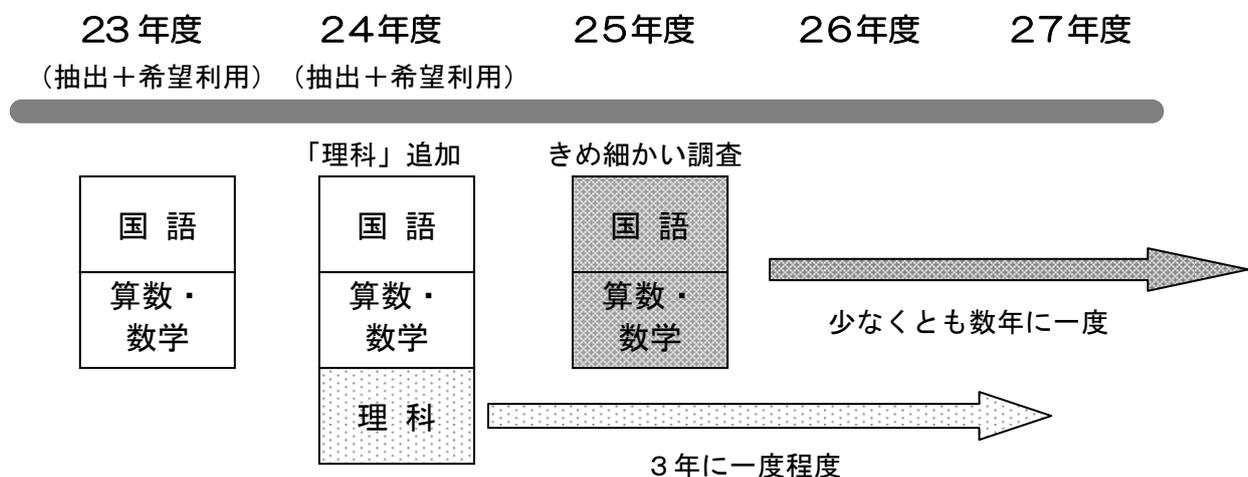
○少なくとも数年に一度は、市町村、学校等の状況も把握することが可能なきめ細かい調査を実施。

対象教科

○「国語」「算数・数学」…毎年度実施。

○「理科」…平成24年度から追加。3年に一度程度の実施が妥当。

○「社会」「英語」…理科の実施状況を踏まえて今後検討。



◆対象学年…当面、小学校第6学年及び中学校第3学年。

◆実施時期…調査の対象となった児童生徒に対する学習改善に役立てるため、年度の早い時期の実施が適当。過去の調査で定着してきた4月下旬の実施を基本とすることが適当。

※全国学力・学習状況調査、教育課程実施状況調査、特定の課題に関する調査については、それぞれの調査の特性を生かしつつ、必要に応じ、適切な役割分担のもとに組み合わせて実施することにより、全体として全国的な学力調査の目的の実現を図る。